

ツキノワグマの生態と被害対策



澤田誠吾
(島根県中山間地域研究センター)

本日の内容

- ① ツキノワグマの基本生態と被害実態
- ② 出没を抑制するための考え方と被害対策

納屋籠城

なぜクマを捕獲する

民家の壁を壊した

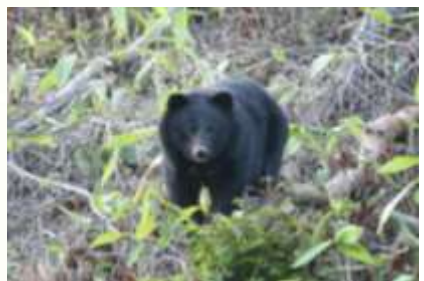
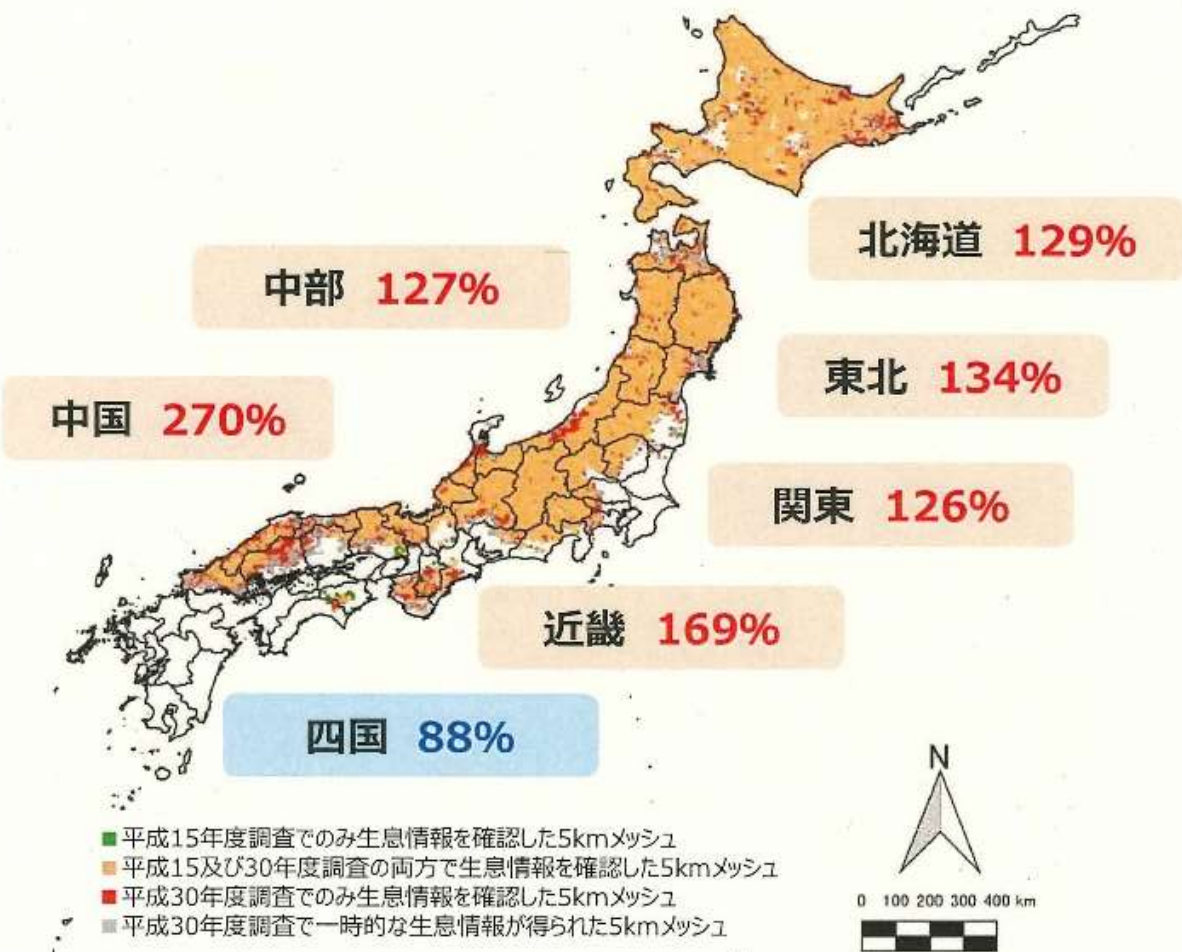
人家・スーパー・空き
家侵入

クマらしき動物が車
庫に入った

市街地・集落内
うろつき

小学校校庭
目撃

クマ類の分布メッシュの増減率 (平成15年度→平成30年度)



出典：環境省生物多様性センター
(平成30年度中大型哺乳類分布調査)

環境省HPより抜粋

ツキノワグマの基本的な生態

- 朝方と夕暮れ時を中心に行動。
- 植物を中心とした雑食性。

しかし、ぼったり遭遇したり、追いつめられると、相手を一撃して逃げようとします。

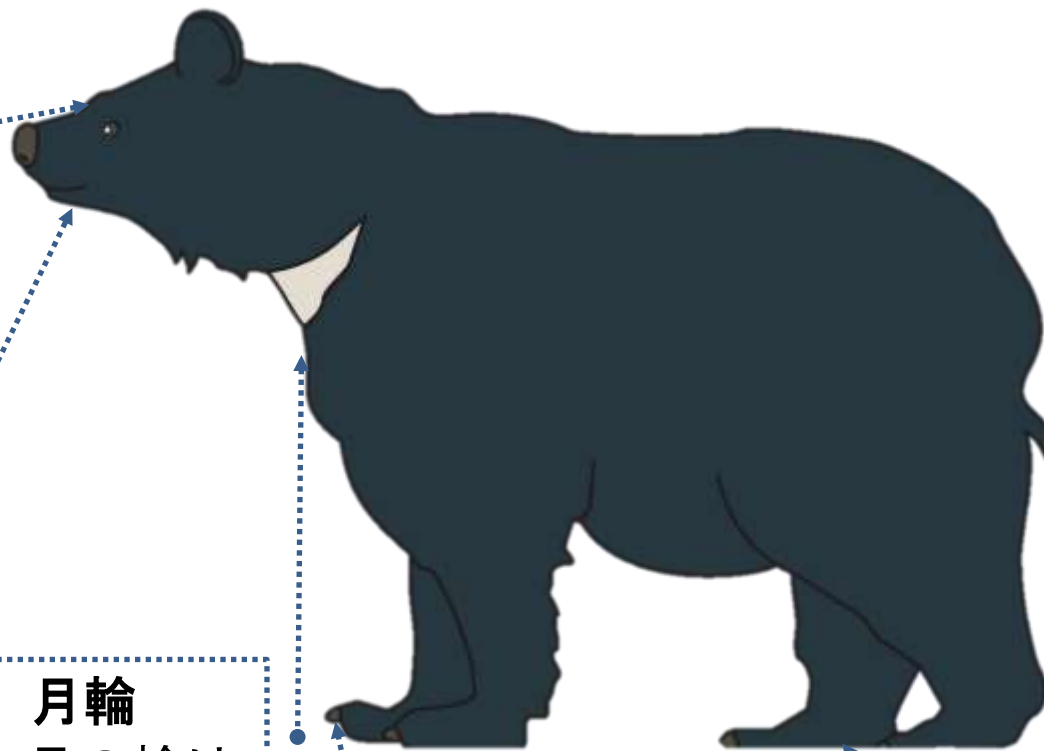
(食べ物への学習能力が高く執着する)

- 12～4月頃まで樹洞や土・岩穴で**越冬**し、この間にメスは普通2頭の子を産む。
- 寿命は20年程度。
- **子グマを連れた母グマは強い！！**
- **一般に考えられているよりも臆病で、おとなしい性質。**

ツキノワグマの身体能力

体重:オス60~130kg メス40~80kg(体重は季節によって大きく変動します)

体長:オス110~130cm メス50~60cm



目

視力はあまりよくありません。

口

噛む力は非常に強いです。

鼻

嗅覚は優れており、犬並ともいわれています。

月輪

白い月の輪は個体ごとに形が異なります。模様がないクマもいます。

爪

爪は鋭くて木登りが得意です。クマにとって最大の武器です。

尾

短くて目立ちません。

脚

100mを6秒台で走るともいわれています。泳ぐことも得意です。

冬眠

出産

冬眠中は何も食べません。

12～4月頃まで冬眠します。
冬眠中にメスはふつう2頭
の子グマを出産します。



冬

体力
回復

ブナやコナラなどの新芽、ササ、ハナウド、フキなどの草本



子グマは1歳半頃
まで、母グマと一生
に生活します。

春

栄養
蓄積

コナラ、ミズナラ、クリなどの堅果類、クマノミズキ、クロキ、サルナシなどの液果類



冬眠に向けてたくさん
食べます。十分に栄養
をとることができたメス
だけが妊娠します。



秋

繁殖

ハチ、アリなどの昆虫類、ヤマザクラ、クワなどの液果類



繁殖期になるとオ
スが活発に活動
するので行動域
が広がります。

夏



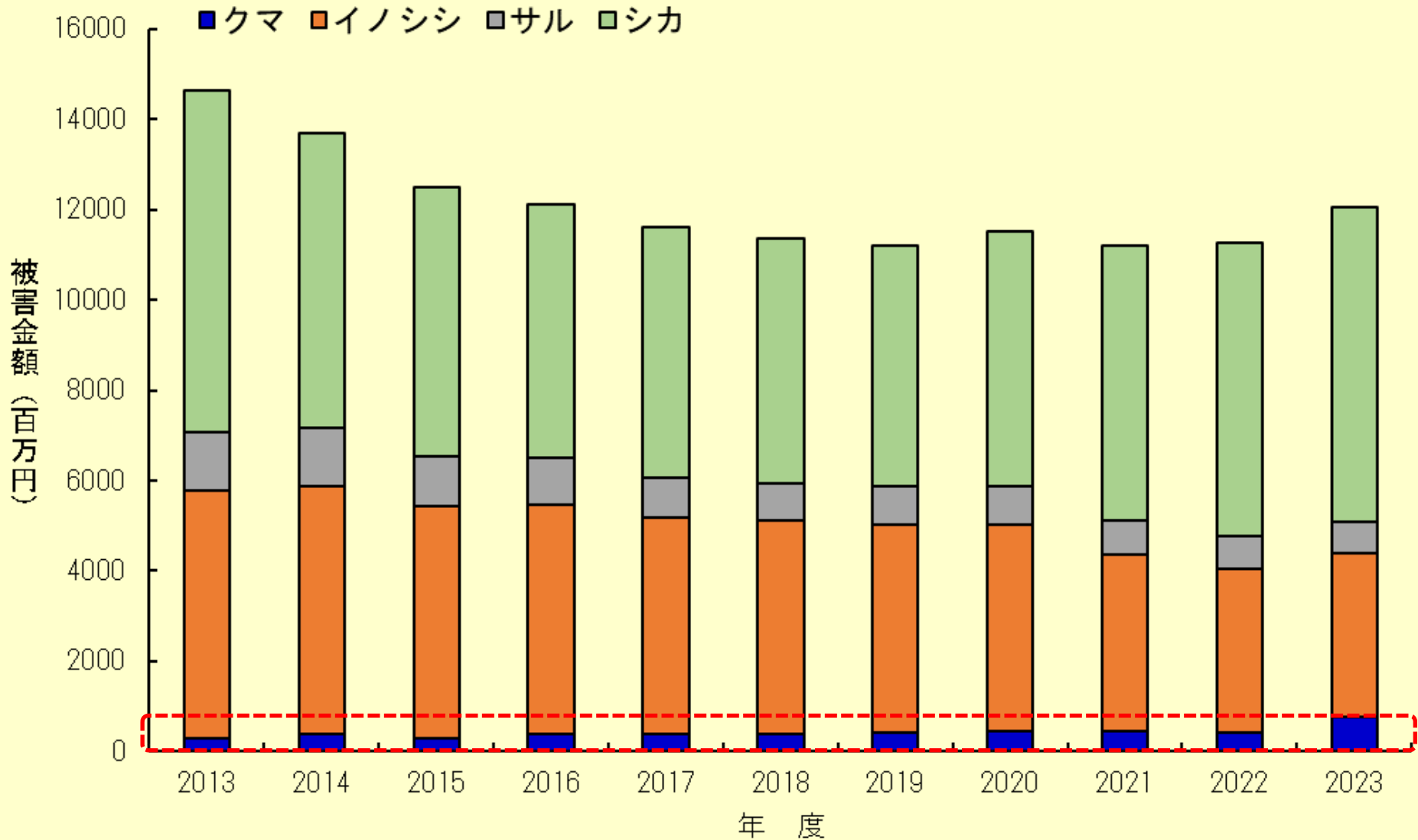
ツキノワグマの行動の特徴

- ・行動範囲（個体差が大きい）。

オス（成獣）⇒40～70km²、メス⇒20～30km²

- ・特定のなわばりをもたない。
- ・夜行性と思われがちですが、森に暮らすクマは昼行性。しかし、人里に下りてきて活動するときは、人との接触をさけるために夜行性になることが知られている。

※堅果類などの餌資源が少ない年には餌を求めて行動圏が2倍以上に拡がり、「大量出没」となることが多い。



野生鳥獣による農作物被害金額
農林水産省HPデータより作成



養蜂巣箱の被害



民家庭先のカキ木の被害



クリの被害



コメの被害



民家の壁に営巣した蜂巣の被害

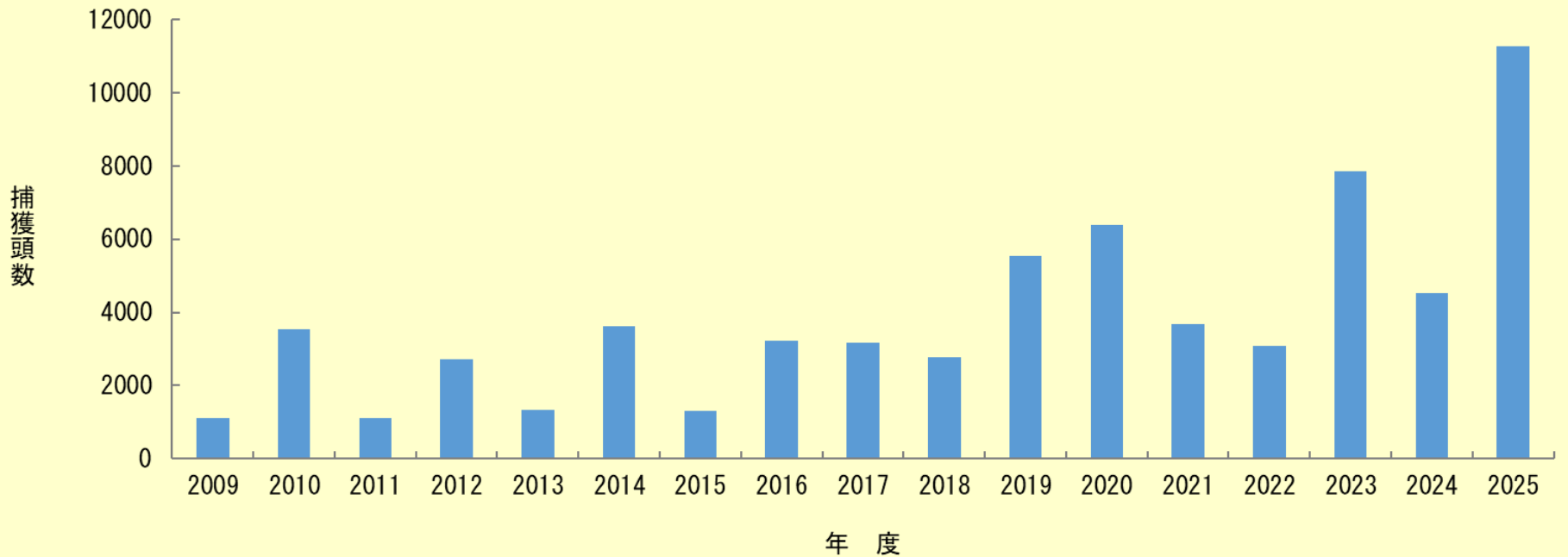




濃厚飼料の被害



コンポストの被害



ツキノワグマの捕獲数（許可捕獲数）

環境省HPデータより作成（2025年度 2025年11月末暫定値）

本日の内容

- ① ツキノワグマの基本生態と被害実態
- ② 出没を抑制するための考え方と被害対策

なぜ人の生活圏に出没するの？

なぜ獣害が発生するの？

① 採食可能な場所

(食べ物がそこにある)

② 人の生活圏に出没する環境が整った

(安全に出没できる)





進む集落の無住化と
農林地の利用・管理放棄

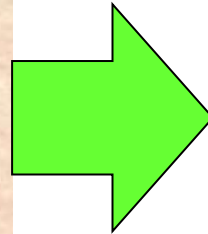
耕作放棄地の利用



クマの出没を抑制する

緩衝帯のイメージ

緩衝帯設置前



緩衝帯設置後



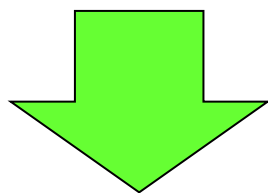




伐採前

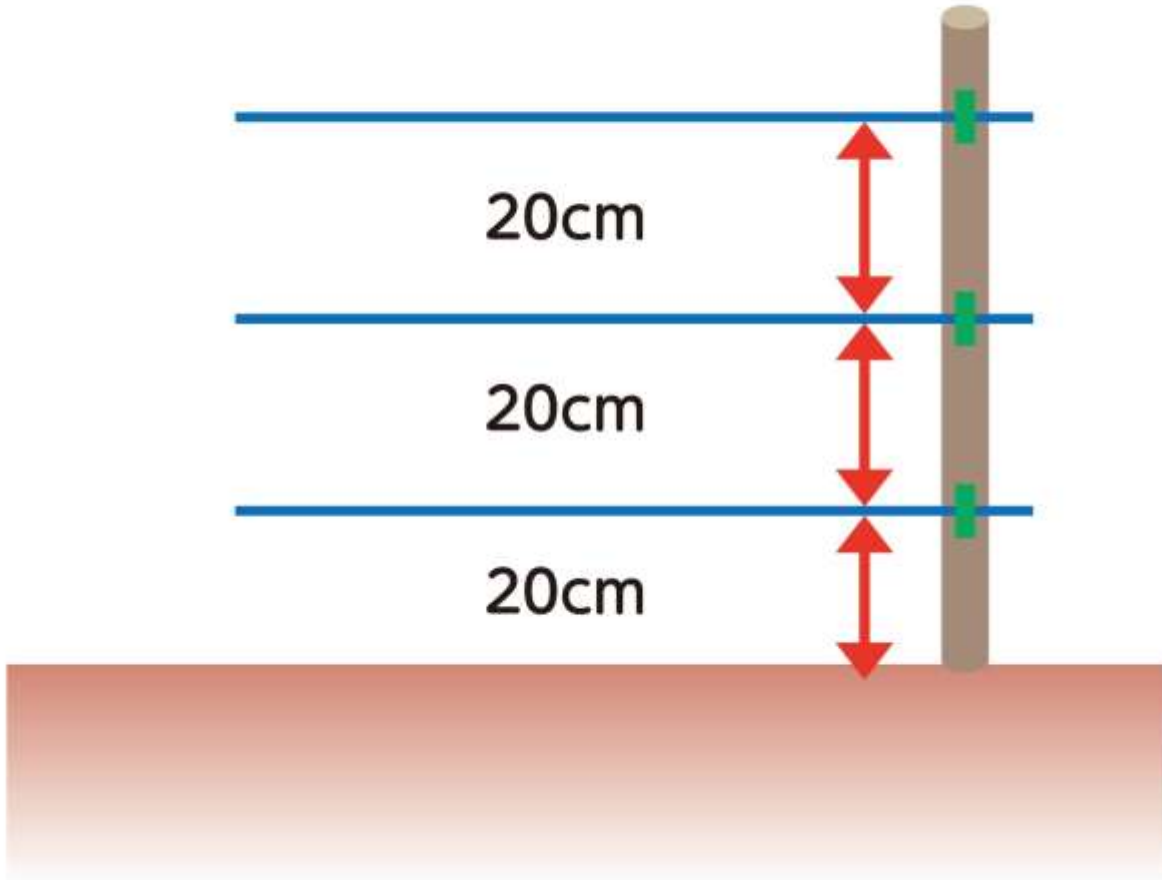


緩衝帯の設置や集落の環境整備(改善)の面的な対策で出没を抑制



守るべき場所は防護柵を設置して物理的・心理的に出没を防ぐ

クマの出没を物理的に遮断する
防護柵のうち、設置方法、管理が
適切であれば電気柵が最も効果が
高い！！



20cm

20cm

20cm





資料提供：島根県西部農林水産振興センター益田事務所



資料提供：島根県西部農林水産振興センター益田事務所

ツキノワグマの捕獲

(捕獲する／捕獲される)

	区分	捕獲方法
捕獲する	狩猟	銃器
	有害捕獲	箱わな
	学術捕獲	箱わな
捕獲される	錯誤捕獲	箱わな くくりわな



島根県西部農林水産振興センター県央事務所



島根県西部農林水産振興センター県央事務所



2005.03.31

現場での状況確認・協議

※箱わなから離れた場所で、クマから
見えない場所で行う(クマを興奮させないため)

【確認事項】

○捕獲地の状況

○わなの状態

○クマの状況

・単体か親子か

→親子の捕獲は細心のアプローチが必要

安全が確保できるか

現場での状況確認・協議

○箱わなの状態の確認

(クマに近づく前に必ず聞き取る！)

▪ 箱わなのロックの有無

▪ 箱わなの強度

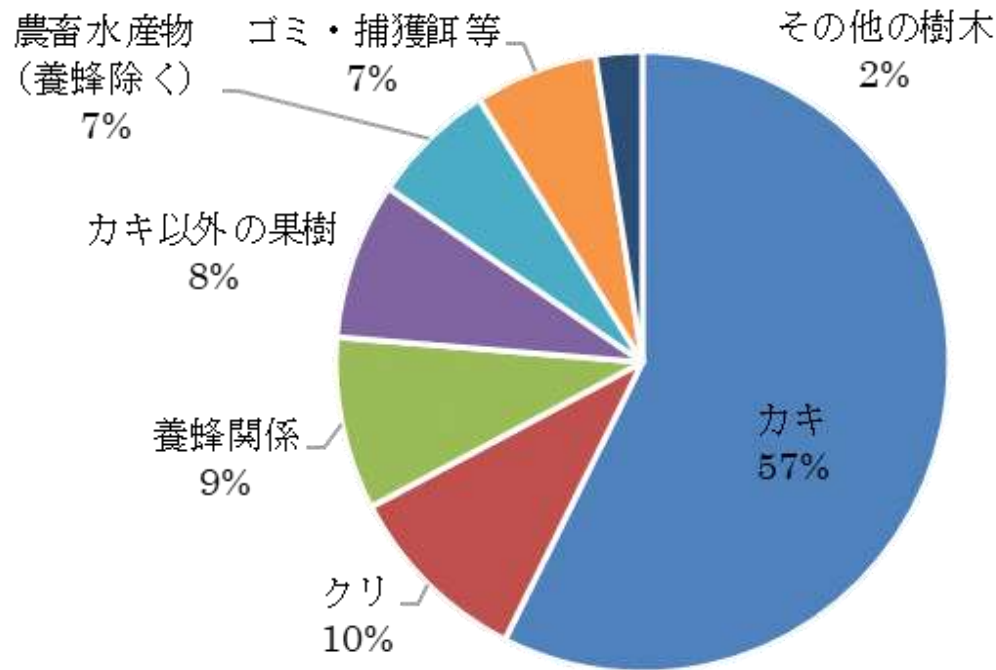
▪ 脱出口の有無





モニタリングの重要性

・2016(平成28)年度から2020(令和2)年度の出没情報をもとに誘引物を特定したところ、カキが最も多く(57%)、次いでクリ(10%)であった。





資料提供:金澤専門員
(島根県吉賀町)



資料提供: 金澤専門員
(島根県吉賀町)



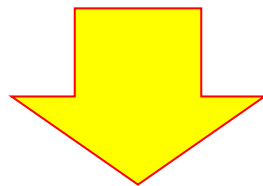
- 1本の木から収穫したカキ

1187個

資料提供: 金澤専門員
(島根県吉賀町)

鳥獣専門指導員の活動事例

クマの大量出没が発生、連日のカキの被害
対応



この地域は、これまでクマによるカキの被害
はほとんど発生していなかった。。。



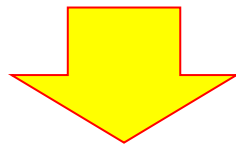


電気柵・トタン巻きの設置指導、カキもぎ。

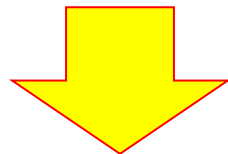
⇒住民への電気柵普及

⇒市町担当者職員のスキルアップ

現場対応で浮かび上がる課題



捕獲、被害対策をしても被害が止まらない



空き家のカキ被害は誰が対策をする・・・

高齢者のカキ対策は・・・

カキを伐採したくてもできない・・・

クマ対策検討会

【住民】

クマと人とどちらが大事なんだ！
保護しているからこんなことになる！
事故が起きたらどうする！



【猟師：〇氏】

〇氏：鳥獣専門指導員と一緒に対策を行っていた方。

「トタンを巻いたり、電気柵などの被害防除が一番効果的だった！」

今まで捕獲一辺倒だった猟師が対策検討会の場で、このような発言をしてくれたのは総合的な対策の大きな一歩！

・O氏を中心にカキの調査がスタート

・甘カキ:214本 渋カキ:130本 合計344本

⇒伐採:7本 伐採可能な木:27本



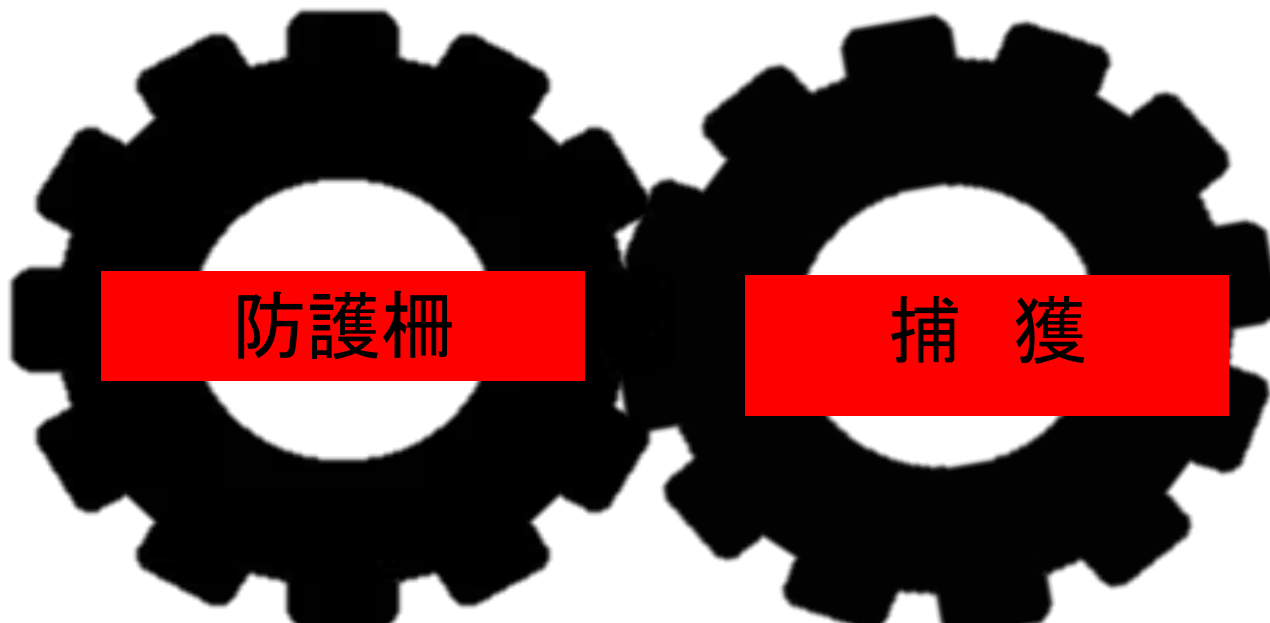
現在も継続してカキ対策を実施







被害対策





ご静聴ありがとうございました